

主要農作物品種審査会

日 時：令和5年10月24日（火）
午前10時から正午まで

会 場：県行政庁舎4階 特別会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 副会長選出
- 5 報告事項
令和4年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について
- 6 審議事項
令和5年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について
- 7 その他
- 8 閉 会

出席者名簿

【委員】

役職	氏名	所属及び職名	出欠
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科 教授	出席
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事	出席
委員	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長	出席
委員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系 准教授	出席
委員	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群 准教授	出席
委員	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長	出席
委員	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	出席
委員	大崎 早苗	宮城県農業士会	出席
委員	小粥 恵子	仙台市経済局農業振興課 課長	出席
委員	齋藤 裕	宮城県農政部 副部長（技術担当）	出席

【幹事】

役職	氏名	所属及び職名
幹事	千葉 啓嗣	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹事	佐藤 潤一	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
幹事	門間 陽一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
幹事	佐々木都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
幹事	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

【事務局等】

役職	氏名	所属及び職名
助言者	西條 和彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部 原種生産チーム 主任研究員
事務局	佐々木 崇	宮城県古川農業試験場 作物栽培部 大豆・麦チーム 技師
事務局	佐藤 淳	宮城県農政部みやぎ米推進課 技術副参事兼総括課長補佐
事務局	増岡 直史	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（班長）
事務局	佐藤 直紀	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主査（副班長）
事務局	石森 裕貴	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主査

令和5年度

主要農作物品種審査会資料

令和5年10月

宮 城 県

目 次

- ◎ 知事からの諮問 1

- ◎ 報告事項
 - (1) 令和4年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について 3

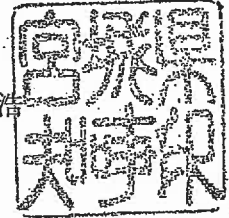
- ◎ 審議事項
 - (1) 令和5年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について 15



みや米第394号
令和5年10月10日

主要農作物品種審査会
会長 本間香貴 殿

宮城県知事 村井 嘉浩



優良品種について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

諮問内容

令和5年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について

担当、農政部みやぎ米推進課

生産販売班 佐藤

TEL：022-211-2841 FAX：022-211-2849

E-mail：miyamai-se@pref.miyagi.lg.jp

令和5年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について

イ. 要望される品種

①大麦：「ミノリムギ」、「シュンライ」と比較して収量、品質が同等以上であり、かつ精麦白度が高く、加工時の碎粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

②小麦：「夏黄金」と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として、加工適性が優れるもの。

「シラネコムギ」と比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

ロ. 供試品種及び系統

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
六条大麦	うるち		北陸皮72号(2) 北陸皮78号(1)	北陸皮78号(1)
			(標)シュンライ (標)ミノリムギ	(標)シュンライ (標)ミノリムギ
	もち	北陸皮糯81号 東山皮糯122号	東山皮糯120号(2) 東山皮糯121号(1)	
		(標)ホワイトファイバー	(標)ホワイトファイバー	
二条大麦	醸造	東北二条51号 小春二条		
計		4	4	1

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
小麦	パン・中華めん	東山62号		
		(標)夏黄金		
	めん	東山64号	東山63号(1) 東北238号(3)	東北238号(3)
		(標)シラネコムギ (比)あおばの恋	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋	(標)シラネコムギ
計		2	2	1

注1)系統名右側の()内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。

注2)現地調査の標準品種は、地域の作付品種に応じて決定する。

報告事項

(1) 令和4年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について

イ. 要望される品種

①大麦：「ミノリムギ」、「シュンライ」と比較して収量、品質が同等以上であり、かつ精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性が高く、実需からの要望を満たすもの。

②小麦：「夏黄金」と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として、加工適性が優れるもの。

「シラネコムギ」と比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

ロ. 供試品種及び系統

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
六条 大麦	うるち	北陸皮76号 北陸皮78号	北陸皮72号 (1)	北陸皮72号 (1)
		(標) シュンライ (標) ミノリムギ	(標) シュンライ (標) ミノリムギ	(標) シュンライ
	もち	東山皮糯121号	東山皮糯120号 (1)	
		(標) ホワイトファイバー	(標) ホワイトファイバー	
計		3	2	1

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
小麦	パン・中華 めん		東北239号 (2)	
			(標) 夏黄金	
	めん	東山63号 東北240号	東北238号 (2)	東北238号 (2)
		(標) シラネコムギ (比) あおばの恋	(標) シラネコムギ (比) あおばの恋	(標) シラネコムギ
計		2	2	1

注) 系統名右側の()内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。

令和4年度（令和5年産）麦類優良品種決定調査成績概要

宮城県古川農業試験場

令和4年度(令和5年度)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):大麦

○ 要望される品種
ミニラムギ, シュンライと比較して収量, 品質が同等以上であり, かつ, 精麦白度が高く, 加工時の砕粒が少ないもの。また, 機能性が高く, 実需からの要望を満たすもの。

表1 令和4年度(令和5年度)優良品種決定調査成績一覧(大麦)

供試系統	供試年数	出穂期 (月,日)	成熟期 (月,日)	倒伏 程度	赤かび 病	(kg/a)	シュンライ ファイバー (g/L)	精麦 白度	精麦 硝子率 (%)	外観 品質 (B)	長所	短所	概 評		
													収量が優る	収量が劣る	
北陸皮72号	1	4.16	6.03	0.0	0.0	73.8	108	-	707	38.9	3.0	38.3	46.9	△	収量が優る ・容積重・千粒重が大きい →年次確認のため再検討。 ・千粒重が大きい
北陸皮76号	予1	4.17	6.04	0.0	0.0	64.0	94	-	708	39.7	3.0	46.1	47.3	×	収量が劣る ・硝子率が高い
北陸皮78号	予1	4.19	6.05	0.0	0.0	77.7	114	-	689	41.3	2.0	29.1	47.0	△	収量が優る ・硝子率が低い。 ・外観が良い →年次確認のため再検討。
(標)シュンライ		4.18	6.03	0.0	0.0	68.2	100	-	685	38.0	3.0	37.6	48.2		
(比)ミニラムギ		4.22	6.06	0.0	0.0	61.8	91	-	717	37.6	3.0	35.5	48.5		
東山皮糯120号	本 予1	4.21	6.05	0.0	0.0	69.2	-	94	698	37.7	4.0	21.4	52.2	△	千粒重が大きい ・容積重が大きい →年次確認のため再検討。 ・収量が劣る
東山皮糯121号	予1	4.23	6.05	0.0	0.0	65	-	88	700	38.2	3.0	21.3	51.1	△	千粒重が大きい ・容積重が大きい →年次確認のため再検討。
(標)ホワイトハイパー		4.20	6.05	0.0	0.0	73.9	-	100	692	35.4	3.0	20.5	51.3		

注1)供試年数の「本」は本調査, 「予」は予備調査を表わす。
注2)倒伏程度 0:無, 1:少, 2:中, 3:多, 4:甚
注3)赤かび病の発生程度 0:無, 1:微, 2:少, 3:中, 4:多, 5:甚
注4)外観品質 1:上の上, 2:上の中, 3:上の下, 4:中の上, 5:中の中, 6:下
注5)有望度 ◎:ごく有望, ○:有望, △:再検討, ×:打ち切り, ※:中止(中止は有望度としては○や△であるが, 諸般の事情で供試を止める場合を示す)

耕種概要等(追肥以外は大麥・小麦共通)

播種月日	令和4年10月14日
播種方法	ドリル播き(シーダー)条間25cm 220粒/m ² (約0.9kg/a)
基肥(aあたり)	尿素燐加安777 窒素:0.8kg 燐酸:0.8kg 加里:0.8kg
追肥(aあたり)	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.25kg(大麦) 硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.25kg(小麦めん用) 硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.5kg(小麦パン用)
実施場所及び圃場条件	古川農業試験場D18(田畑輪換ブロック)灰色低地土
試験面積	1区12m(4m×3m) 2反履

大麦ランク区分

用途	評価項目	基準値	許容値
主食用等	容積重	690g/L以上	-
	細麦率	2.2mm篩下に2.0%以下	-
	白度	43以上 基準歩留:55% 農産物検査時から1か月以上経過したサンプル	40以上
	硝子率	40%以下	50%以下

*経営安定対策のうち, 畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

表2 大麦供試系統の歴年成績
北陸皮72号(シユンライ)対照

供試系統	試験年次	出穂期(月・日)	成熟期(月・日)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	標準対比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外觀品質	硝子率(%)	精麦白度	概評
北陸皮72号	R3	4.26	6.05	93.7	430	3.7	0.0	58.9	109	733	41.0	3.5	37.4	44.1	△
	R4	4.16	6.03	96.3	46	554	0.0	73.8	108	707	38.9	3.0	38.3	46.9	△
	平均	4.21	6.04	95.0	492	1.9	0.0	66.4	109	720	40.0	3.3	37.9	45.5	
(標)シユンライ	R3	4.23	6.04	92.1	433	3.1	0.0	54.0	100	683	36.1	4.5	48.8	48.2	
	R4	4.18	6.03	94.7	515	0.0	0.0	68.2	100	685	38.0	3.0	37.6	48.2	
	平均	4.21	6.04	93.4	474	1.6	0.0	61.1	100	684	37.1	3.8	43.2	48.2	

・「シユンライ」と比較して成熟期は同程度
・収量は優る。容積重・千粒重は大きい

東山皮糯120号(ホワイトファイバー)対照

供試系統	試験年次	出穂期(月・日)	成熟期(月・日)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	標準対比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外觀品質	硝子率(%)	精麦白度	概評
東山皮糯120号	R3	4.25	6.06	96.5	424	2.8	0.0	57.3	92	726	37.8	3.5	24.5	51.4	△
	R4	4.21	6.05	97.1	492	0.0	0.0	69.2	94	698	37.7	4.0	21.4	52.2	△
	平均	4.23	6.06	96.8	458	1.4	0.0	63.3	93	712	37.8	3.8	23.0	51.8	
(標)ホワイトファイバー	R3	4.26	6.06	96.5	463	2.8	0.0	62.3	100	711	37.2	3.5	29.3	51.4	
	R4	4.20	6.05	99.6	628	0.0	0.0	73.9	100	692	35.4	3.0	20.5	51.3	
	平均	4.23	6.06	98.1	546	1.4	0.0	68.1	100	702	36.3	3.3	24.9	51.4	

・「ホワイトファイバー」と比較して出穂期、成熟期は同程度
・収量は劣る。容積重・千粒重は大きい

注1)倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚
注2)赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚
注3)外觀品質 1:上の上、2:上の中、3:上の下、4:中の上、5:中の中、6:下
注4)有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(特性把握につき中止)

令和4年度(令和5年産)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):小麦

○ 要望される品種

シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、維管束病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。
夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂萌芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

表3 令和4年度(令和5年産)優良品種決定調査成績一覧(小麦)

供試系統	供試年数	出穂期(月・日)	倒伏(月・日)	赤かび病程度	病	シラネ夏黄金(kg/a)	子実重量(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質(%)	蛋白質(%)	有望度	概評
東北238号	本2 予1	4.27	6.18	0.0	0.0	64.1	106	-	851	43.1	4.0	11.8	△
東北240号	予1	4.29	6.18	0.0	0.0	57.5	95	-	844	45.3	3.0	10.9	×
東山63号	予1	4.25	6.18	0.0	0.0	58.3	96	-	848	45.9	3.0	10.6	△
標シラネコムギ		4.27	6.19	0.0	0.0	60.7	100	-	845	43.1	3.0	13.0	
比)あおばの恋		4.21	6.18	0.0	0.0	47.4	78	-	851	42.3	4.0	13.7	
東北239号	本2 予1	5.02	6.19	0.0	0.0	61.6	-	109	877	46.1	4.0	12.9	※
(標)夏黄金		4.27	6.18	0.0	0.0	56.5	-	100	859	41.6	2.0	13.4	

注1)供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表わす。

注2)倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注3)赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注4)外観品質 1:上の上、2:上の中、3:上の下、4:中の上、5:中の中、6:中の下、7:下

注5)有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)

品質評価基準(小麦)

用途	評価項目	基準値		許容値
		たんぱく	灰分	
日本めん用	たんぱく	9.7%以上	11.3%以下	8.5%以上12.5%以下
	灰分	1.60%以下	840g/L以上	1.65%以下
	容積重	300以上	300以上	—
	フォールグナバー	11.5%以上	14.0%以下	200以上
パン・中華めん用	たんぱく	1.75%以下	833g/L以上	10.0%以上15.5%以下
	灰分	1.80%以下	—	1.80%以下
	容積重	300以上	—	—
	フォールグナバー	—	—	200以上

* 経営安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

表4 小麦供試系統の歴年成績

①東北238号(シラネコムギ対照)

供試系統	供試年度	出穂期(月・日)	成熟期(月・日)	稈長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重対照比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外觀品質	蛋白質(%)	度	概評
東北238号	R2	5.03	6.19	80.8	9.6	346	0.6	59.3	121	831	40.1	3.0	11.8	○	・成熟期は2日早い
	R3	5.05	6.20	83.8	8.8	398	0.0	68.0	120	853	43.4	3.0	11.1	△	・収量は優る
	R4	4.27	6.18	84.4	9.3	442	0.0	64.1	106	851	43.1	4.0	11.8	△	・千粒重がやや小さい
	平均	5.02	6.19	83.0	9.2	395	0.2	63.8	116	845	42.2	3.3	11.6		
(標)シラネコムギ	R2	5.04	6.22	82.6	7.5	405	1.6	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0		
	R3	5.05	6.21	83.2	7.4	424	2.5	56.7	100	852	44.5	3.0	12.5		
	R4	4.27	6.19	83.6	7.4	502	0.0	60.7	100	845	43.1	3.0	13.0		
	平均	5.02	6.21	83.1	7.4	444	1.4	55.5	100	840	43.0	3.3	12.8		

④東北239号(夏黄金対照)

供試系統	供試年度	出穂期(月・日)	成熟期(月・日)	稈長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重対照比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外觀品質	蛋白質(%)	度	概評
東北239号	R2	5.07	6.23	75.8	8.6	447	0.0	60.4	119	811	38.8	4.0	11.8	△	・出穂期は3日, 成熟期は2日遅い
	R3	5.09	6.24	80.2	9.1	397	0.0	69.0	126	850	46.0	3.0	12.0	△	・収量は優る
	R4	5.02	6.19	79.1	8.3	477	0.0	61.6	109	877	46.1	4.0	12.9	※	
	平均	5.06	6.22	78.4	8.7	440	0.0	63.7	118	846	43.6	3.7	12.2		
(標)夏黄金	R2	5.05	6.20	76.8	8.0	448	0.6	50.6	100	829	37.8	4.0	14.3		・容積重は同程度。
	R3	5.07	6.23	82.4	8.1	458	0.7	54.8	100	856	43.4	2.0	13.4		・千粒重が大きい
	R4	4.27	6.18	77.6	7.8	527	0.0	56.5	100	859	41.6	2.0	13.4		
	平均	5.03	6.20	78.9	8.0	478	0.4	54.0	100	848	40.9	2.7	13.7		

注1)倒伏程度 0:無, 1:少, 2:中, 3:多, 4:甚

注2)赤かび病の発生程度 0:無, 1:微, 2:少, 3:中, 4:多, 5:甚

注3)外觀品質 1:上の上, 2:上の下, 3:中の上, 4:中の中, 5:中の下, 6:下

注4)有望度 ◎:ごく有望, ○:有望, △:再検討, ×:打ち切り, ※:中止(特性把握につき中止)

表5 現地調査における系統の有望度

系統名	担当普及センター	有望度	判定理由
大麦 「北陸皮72号」	大河原	×	出穂期、成熟期、収量、千粒重ともにシユンライ並。外觀品質はやや劣る。シユンライと比較して優位性が見当たらない。
	石巻	×	出穂期及び成熟期はシユンライと同日。シユンライより千粒重・容積重で上回るが、精子実重・硝子率・外観品質で劣る。収量(精子実重)と品質(硝子率・外観品質)が劣るため、有望ではないと判断した。
	美里	△	出穂期、成熟期はシラネコムギとほぼ同等。出芽ムラおよび鳥害による生育ムラが大きく、詳細に品種間差を検討できなかったため再検討としたが、収量がほぼ同等であるのに対し千粒重が小さく、容積重、品質が劣るため、今回の結果からは劣ると判断される。
小麦 「東北238号」	登米	○	播種後の出芽、越冬前生育がシラネコムギに比べ、東北238号がやや生育良好に見受けられた。生育ステージもほぼ同程度であった。収量調査結果は、外観品質は両品種ともに「中の下」であったが、子実重比及び千粒重がシラネコムギを大きく上回ることから、有望と判定した。

}

審議事項

(1) 令和5年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について（案）

イ. 要望される品種

①大麦：「ミノリムギ」、「シュンライ」と比較して収量、品質が同等以上であり、かつ精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

②小麦：「夏黄金」と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として、加工適性が優れるもの。

「シラネコムギ」と比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

ロ. 供試品種及び系統

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
六条大麦	うるち		北陸皮72号(2) 北陸皮78号(1)	北陸皮78号(1)
			(標)シュンライ (標)ミノリムギ	(標)シュンライ (標)ミノリムギ
	もち	北陸皮糯81号 東山皮糯122号	東山皮糯120号(2) 東山皮糯121号(1)	
		(標)ホワイトファイバー	(標)ホワイトファイバー	
二条大麦	醸造	東北二条51号 小春二条		
計		4	4	1

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
小麦	パン・中華めん	東山62号		
		(標)夏黄金		
	めん	東山64号	東山63号(1) 東北238号(3)	東北238号(3)
		(標)シラネコムギ (比)あおぼの恋	(標)シラネコムギ (比)あおぼの恋	(標)シラネコムギ
計		2	2	1

注1)系統名右側の()内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。

注2)現地調査の標準品種は、地域の作付品種に応じて決定する。

ハ. 優良品種決定調査供試系統の特性概要

①大麦本調査

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
北陸皮 72号	東山皮 110号 / 北陸皮 48号		精麦	<p>【シュンライ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ファイバースノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性で播性Ⅳの秋播き型。 ・出穂期は3日、成熟期は1日程度早い。 ・穂長はやや長く、稈長は同程度かやや長く、穂数は同程度である。 ・収量は多く、整粒歩合はやや大きい。容積重はやや小さく、千粒重は同程度かやや大きい。 ・雲形病に罹病し、うどんこ病に弱い。穂発芽性、耐雪性は中程度である。 ・搗精時間が短く、精麦白度は同程度で、破粒率が高い。硝子率は低く、空洞率率が高い。原麦粗タンパク含量はやや低く、原麦β-グルカン含量は同程度である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成熟期は同程度。 ・収量が優る。容積重が大きい。 <p>令和5年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
北陸皮 78号	東北皮 43号・東山皮糯 109号 / 関東皮 96号		精麦	<p>【ミノリムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ファイバースノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性で播性Ⅳの秋播き型。 ・破碎でんぷん粒遺伝子 fra をもち、硝子率がかなり低い。 ・出穂期は1日早く、成熟期は2日遅い。 ・穂長は同程度、稈長は短く、穂数は少ない。 ・収量はやや少なく、整粒歩合は大きい。容積重はやや小さく、千粒重は大きい。 ・うどんこ病の発病程度はわずかに少なく、耐雪性はやや弱い。穂発芽性は同程度である。 ・搗精時間は長く、精麦白度はやや低い。空洞率率は高めである。原麦粗タンパク含量、原麦β-グルカン含量は同程度である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は3日早い、成熟期は1日早い。 ・収量が優る。千粒重が大きい。硝子率が低い。 <p>令和5年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
東山皮糯 120号	東山皮糯 109号 / ファイバースノウ	F13	精麦 (糯)	<p>【ホワイトファイバー対照】(ホワイトファイバーの改良版)</p> <p>◆育成地における成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度はⅠ～Ⅱ。出穂期は同程度。 ・稈長はやや長く、穂長は同程度。穂数はやや少ない。 ・収量は多い。容積重はやや大きく、千粒重は同等。 ・耐雪性・耐寒性は同等。 ・硝子率はやや低く、精麦時間は短い。白度は高い。アミロース含量は同等。 ・β-グルカン量はやや少ないが、実需者が求める基準を満たしている。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期、成熟期は同程度。 ・収量は劣る。 <p>令和5年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>

東山皮糯 121号	東山皮糯 109号/ファイバースノウ	F12	精麦 (糯)	<p>【ホワイトファイバー対照】(ホワイトファイバーの改良版)</p> <p>◆育成地における成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度はV。出穂期は2日遅く、成熟期は同程度。 ・稈長はやや長く、穂長は同程度。穂数はやや少ない。 ・収量は同等。容積重・千粒重はやや大きく、外観品質は同等。 ・耐寒性は「やや強」でやや優れ、耐雪性は「中」で同等。 ・オオムギ縮萎縮病抵抗性は、I+Ⅲ型、Ⅱ型共に「極強」、オオムギ萎縮病抵抗性は「やや強」であり、いずれも「ホワイトファイバー」より優れる。 ・硝子率はやや低く、精麦時間は短い。白度は高い。 ・アミロース含量は同等。β-グルカン量はやや低い。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は3日遅い。成熟期は同程度。 ・収量は劣る。 <p>令和5年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
--------------	-----------------------	-----	-----------	---

②大麦予備調査

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
北陸皮糯 81号	北陸皮 54号 (ゆきはな六条) // 北陸皮 54号 × 新系 WM1 (はねうまもち)	F8	精麦 (糯)	<p>◆育成地における成績(はねうまもち比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もち性で、並性、播性はⅢの秋播型である。 ・出穂期は3日、成熟期は1日早い。稈長は短く、穂長はやや短く、穂数はやや多い。 ・収量は同程度、整粒歩合は大きい。容積重はやや小さく、千粒重はやや大きい。 ・うどんこ病には抵抗性(Mla9)で耐雪性はやや弱い。耐穂発芽性は同程度である。 ・搗精時間は同程度で、精麦白度は高い。空洞麦率は低めである。原麦β-グルカン含量は同程度である。
東山皮糯 122号	長交 1381・関 系 n554/シル キースノウ	F11	精麦 (糯)	<p>◆育成地における成績(ホワイトファイバー・ファイバースノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性、皮性のもち種で、播性程度はV。出穂期・成熟期は、「ホワイトファイバー」と同等で、「ファイバースノウ」より2日早い。 ・稈長は「ホワイトファイバー」よりやや長く「ファイバースノウ」と同等。穂長は「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」とほぼ同等。穂数は「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」より多い。 ・収量は「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」より少ない。 ・容積重および千粒重は「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」より小さい。外観品質は「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」よりやや劣る。 ・耐寒性は「強」で「ファイバースノウ」と同等、耐雪性は「中」で「ホワイトファイバー」と同等。 ・オオムギ縮萎縮病抵抗性は、I+Ⅲ型、Ⅱ型共に「極強」、オオムギ萎縮病抵抗性は「極強」であり、いずれも「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」より優れる。 ・穂発芽は「易」で、「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」より弱い。 ・搗精時間は「ファイバースノウ」の約2倍である。白度は「ホワイトファイバー」「ファイバースノウ」より低い。 ・アミロース含有率は「ホワイトファイバー」より低く、完全もち種である。 ・β-グルカン含有率は約13%で「ホワイトファイバー」の約2倍、「ファイバースノウ」の約3倍である。

小春二条	ニシノゴールド・ミュキオオムギ/九州二条 11号		醸造	<p>◆育成地における成績(シュンライ・ミノリムギ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐倒伏性および穂発芽性は“中”、縞萎縮病抵抗性はⅠ型に“極強”、Ⅱ型に“やや強”、赤かび病抵抗性は“やや強”、うどんこ病抵抗性は“中”、小さび病抵抗性は“弱”である。 ・播性がⅡで、出穂期および成熟期が「ミノリムギ」とほぼ同程度である。「シュンライ」と比べると出穂期は6日遅い。 ・稈長は「ミノリムギ」と同程度のやや長稈種で、穂数が多く、収量は少ないが、千粒重、容積重は大きい。 ・麦芽エキス、ジアスターゼ力および総合的に醸造適性を評価する指標である麦芽評点が「ミノリムギ」より高く、ビール醸造適性に優れる。 ・耐寒性および耐雪性は“やや弱”で「ミノリムギ」より劣るが、二条大麦品種「あまぎ二条」等と比べると明らかに雪害に強い。
東北二条 51号	関東二条 43号/小春二条	F14	醸造	<p>◆育成地における成績(小春二条比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性はⅤで「小春二条」と出穂期が1日早く、成熟期が同等か1～2日早いやや早生種である。 ・稈長は「小春二条」より短く、穂長は同程度、穂数は多い。 ・収量はドリル播と条播ともに「小春二条」より多収である。「小春二条」より千粒重と容積重と整粒歩合が大きく、外観品質もやや優れる。 ・耐雪性は「小春二条」と同等かやや弱く、穂発芽性は“易”で「小春二条」よりやや劣る。 ・うどんこ病抵抗性は“強”で「小春二条」より優れ、縞萎縮病はⅠ型には強く、Ⅱ型にはやや強で「小春二条」より優れる。

③小麦本調査

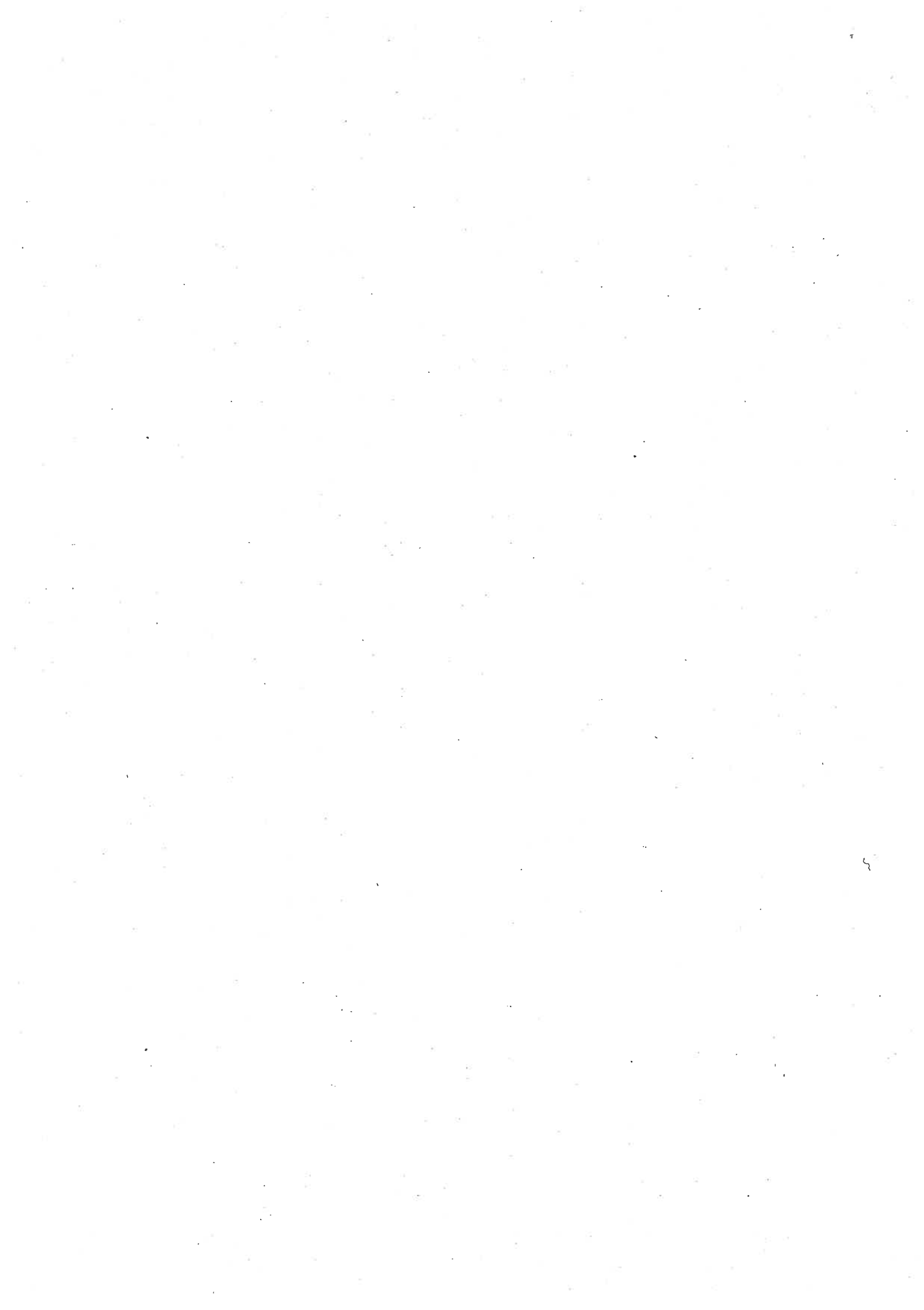
系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
東山 63号	長交小 2170・東海 105号/しゅんよう	F13	めん	<p>【シラネコムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績(しゅんよう比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅳ、紡錘状態の有芒種。ふ色は淡黄(白ふ)である。 ・出穂期は3日早く、成熟期は2日早く、シラネコムギと同等。 ・稈長・穂長はやや短く、穂数はやや少ない。倒伏は同等。 ・収量はやや多収、容積重は同等。千粒重は明らかに大きく、外観品質は優れる。 ・耐寒性「やや強」、耐雪性「やや強」であり、ほぼ同等。穂発芽性は「難」であり、同等。 ・コムギ縞萎縮病抵抗性は「強」でほぼ同等である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は2日早く、成熟期は1日早い。 ・収量はやや劣る。 ・容積重は同程度で千粒重が大きい。 <p>令和5年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>

東北 238号	盛系 D-B030//関東 135号/きたほなみ	F13	めん	<p>【シラネコムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ネバリゴシ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性Ⅳ。出穂期は3日程度早く、成熟期は同程度の早生種。 ・白ふ、有芒で、稈長がやや長く穂長が長い。 ・耐雪性は”やや弱”で、穂発芽性は”やや難”である。 ・縞萎縮病抵抗性は”やや強”で、うどんこ病抵抗性は”やや強”で、赤さび病抵抗性は”強”である。 ・収量が多く、容積重が大きく、外観品質は同程度。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は同程度。成熟期は1日早い。 ・収量は優る。 <p>令和5年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
---------	--------------------------	-----	----	---

④小麦予備調査

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
東山 62号	東山 42号//東山 42号/東北 223号	F14	パン	<p>◆育成地における成績(ゆめかおり比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅳ、紡錘状穂の有芒種、ふ色は淡黄である。 ・出穂期は3日遅い。成熟期は2日遅い。 ・稈長はやや短い。穂長はやや長い。穂数はやや少ない。倒伏は同等。 ・収量は多収。容積重はやや小さい。千粒重は小さい。外観品質は同等。 ・耐寒性「やや強」、耐雪性「中」で優れる。穂発芽性は「難」であり、同等。 ・育成地におけるコムギ縞萎縮病抵抗性は「強」で同等。 ・製粉歩留及びミリングスコアは高い。 ・60%粉の蛋白質含量はやや低い。 ・粉の色の明度(L*)は、加熱前は同等で加熱後はやや高い。赤み(a*)は加熱前及び加熱後ともに低く、黄色み(b*)は加熱前及び加熱後ともに同等。 ・アミロース含量は同等の通常アミロースタイプ。 ・ファリノグラムの吸水率は低い。パロリメータバリュウ(V.V.)は同等。
東山 64号	長交小 2199・ユメセイキ/東北 230号	F12	めん	<p>◆育成地における成績(ユメセイキ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅴ、紡錘状穂の有芒種、ふ色は黄色(白ふ)。 ・出穂期は2日早く、成熟期はより1日早い。 ・稈長・穂長・穂数及び倒伏はほぼ同等。 ・収量はやや多収。容積重・千粒重はほぼ同等。外観品質は「しゅんよう」よりやや優れる。 ・耐寒性「強」、耐雪性「やや強」で同等である。穂発芽性は「難」であり、やや優れる。 ・育成地におけるコムギ縞萎縮病抵抗性は「強」でやや優れる。 ・製粉歩留は優れ、ミリングスコアはやや高い。 ・60%粉の蛋白質含量はほぼ同等。 ・粉の色の明度(L*)、赤み(a*)、黄色み(b*)は加熱前及び加熱後ともにほぼ同等であり、PPO 活性は低活性型(PPO-A1b、PPO-D1a)。 ・アミロース含有率は高い”やや低アミロース”タイプ(Wax-B1b)。 ・ファリノグラムの吸水率は低い。パロリメータバリュウ(V.V.)は大きい

参 考 资 料



目 次

I	宮城県優良品種決定基準	1
II	宮城県主要農作物優良品種区分基準	2
III	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	3
IV	宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分	4
V	優良品種決定調査の方法 (宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))	5
VI	宮城県優良品種決定調査方法	6
VII	主要農作物種子条例	8
VIII	主要農作物品種審査会構成員名簿	10
IX	優良品種特性表(水稻)	11
X	優良品種特性表(大豆)	12
X I	優良品種特性表(麦類)	13
X II	水稻優良品種の年次別作付面積	14
X III	大豆優良品種の年次別作付面積	15
X IV	麦類優良品種の年次別作付面積	16

I 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量、病虫害抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し、既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし、優良品種に採用しようとする品種が、普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量、病虫害抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて、対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し、1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し、重大な欠点明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

Ⅱ 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和2年9月18日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稻・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の2区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。
 - (1) 基幹品種
生産・流通対策上、基幹となる品種
 - (2) 特定品種
基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和2年9月18日決定)「優良品種の採用基準」1に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

- ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種
- イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種
- ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種
- エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種
- オ 暫定的に普及が望まれる品種

Ⅲ 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稲・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

1. すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて
 過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。
 なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稲	麦 類	大 豆
200ha	100ha	100ha

2. 基幹・特定品種の移行について
 - (1) 特定品種から基幹品種への移行について
 特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。
 - (2) 基幹品種から特定品種への移行について
 基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面 積	備 考
水 稲	200ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	200ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	300ha	1銘柄販売ロット500t以上

3. 基幹・特定品種の廃止について
 基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稲	麦 類	大 豆
100ha	50ha	50ha

4. その他
 上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。

IV 宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分

1 水稻

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ，ササニシキ， まなむすめ，だて正夢	トヨニシキ，げんきまる， 東北194号，金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ，つや姫
も ち	みやこがねもち	ヒメノモチ，こもちまる
特 殊 用途米	蔵の華(酒造好適米)	たきたて(低アミロース米)

2 麦類

(1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ，夏黄金	あおばの恋

(2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ	ホワイトファイバー
中 生	ミノリムギ	—

3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ，あやこがね	すずほのか，タチナガハ， きぬさやか，すずみのり
晩 生	ミヤギシロメ	—

V 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領 (令和2年4月1日施行))

1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設けた場合には、この限りではない。

稲及び大豆 12月末日

麦類 7月末日

2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年日以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

(1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

(2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

VI 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

- 1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物 の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟耐性, 耐倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性(耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類	農作物 の種類	区 制		耕種法の種類
		1区面積	区 数	
基 予 備 調 査	稲	6 m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本県に最も普及している耕種様式により調査を行う。
	麦類	10 m ² 以上		
大豆	12 m ² 以上			
調 本 調 査	稲	6 m ² 以上	3区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本県に最も普及している耕種様式を原則として複数用いて調査を行う。
	麦類	10 m ² 以上		
	大豆	12 m ² 以上		
現 地 調 査	稲	20 m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 優良品種適応地域ごとに最も普及している耕種様式により調査を行う。
麦類				
大豆				

3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調査の項目
基本調査	予備調査	<p>1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 莖長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p>
	調査本調査	<p>1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味</p> <p>2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質</p> <p>3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質</p>
	現地調査	<p>1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。</p>

Ⅶ 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第59号]

第三章 主要農作物品種審査会

(設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

(所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

(組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会

長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二條 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三條 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四條 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

Ⅷ 主要農作物品種審査会構成員名簿

(令和5年9月)

役職名	氏名	所属及び職名
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委員	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
〃	大川 亘	尚綱学院大学総合人間科学系理工・自然部門 准教授
〃	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群食資源開発学類 准教授
〃	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長
〃	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会
〃	小粥 恵子	仙台市経済局農業振興課 課長
〃	齋藤 裕	宮城県農政部 副部長(技術担当)
幹事	千葉 啓嗣	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
〃	佐藤 潤一	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
〃	門間 陽一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	佐々木 都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
〃	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

IX 水稲優良品種特性表 (H30~R4)

穂熟性	品種名	育成年次	出穂期(月日)	成熟期(月日)	穂長(cm)	穂長(cm)	穂数(株/m ²)	草型	脱粒性	耐病性			耐倒伏性			収量(g/10a)	粒形(mm)			食味	特性概要	栽培適地	
										白葉枯	いもち病	熱帯夜間病	耐倒伏性	耐冷性	長さ		幅	傾き	長さ				幅
早生	やまのしずく	中部94号(純ひびき)×こここまち(宮城県吉川農試, 平19)	7/30	9/7	79.1	18.0	476	中	中	強	強	強	強	21.7	5.1	2.8	2.0	少	短	白	上等	食味	西部丘陵地帯, 三陸沿岸地帯, 三陸山間高冷地帯
早生	ササニシキ	東陽224号(ハツシシキ)×ササニシキ(宮城県吉川農試, 昭38)	8/3	9/17	83.7	17.9	547	中	中	強	強	強	強	21.1	5.1	2.8	2.0	稀少	短	白	中	食味	平坦地帯
中生	トヨニシキ	東北78号(ササニシキ)×東陽239号(宮城県吉川農試, 昭44)	8/3	9/15	84.2	18.8	469	中	中	強	強	強	強	21.4	5.1	2.8	2.0	少	短	白	中	食味	平坦地帯
中生	ひとめぼれ	コンヒカリ×初冠(宮城県吉川農試, 平3)	8/3	9/13	82.1	18.1	519	中	中	強	強	強	強	21.8	5.1	2.8	2.0	少	短	白	中	食味	平坦地帯
中生	まなむすめ	チヨシシキ×東北143号(ひとめぼれ)(宮城県吉川農試, 平9)	8/3	9/12	78.7	18.4	446	中	中	強	強	強	強	23.7	5.3	2.9	2.0	少	短	白	中	食味	平坦地帯
中生	だて正夢	東北189号(けんま)×東1126号(宮城県吉川農試, 平29号)	8/6	9/18	85.0	19.0	403	中	中	強	強	強	強	20.2	5.1	2.7	2.0	中	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	東北194号	ササニシキ×ひとめぼれ(宮城県吉川農試, 平23)	8/3	9/15	81.4	18.0	538	中	中	強	強	強	強	21.2	5.1	2.7	2.0	少	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	げんきまる	東北189号×東北152号(まなむすめ)(宮城県吉川農試, 平21)	8/7	9/21	82.1	19.2	375	中	中	強	強	強	強	23.5	5.2	2.9	2.0	少	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	コンヒカリ	長林22号×長林1号(長井農試, 昭31)	8/14	9/28	97.2	18.3	447	中	中	強	強	強	強	21.8	5.1	2.9	1.9	稀	短	白	中	食味	南部平坦地帯
中生	つや短	山形70号×東北164号(山形農試, 昭47)	8/13	9/28	80.0	17.1	462	中	中	強	強	強	強	21.6	5.1	2.8	1.9	稀	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	ヒメノモ子	大系22号×こがねもち(東北農試, 昭47)	7/30	9/7	84.4	19.1	414	中	中	強	強	強	強	22.4	5.2	2.9	2.0	稀	短	白	中	食味	山間高冷地帯, 西部丘陵地帯
中生	みやこがねもち	東陽239号×長林17号(新潟農試, 昭33)	8/9	9/23	92.8	16.9	396	中	中	強	強	強	強	21.5	4.9	2.8	2.0	稀	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	こちもまる	もちむすめ×東北161号(宮城県吉川農試, 平24)	8/10	9/24	84.5	18.1	362	中	中	強	強	強	強	22.1	5.2	2.8	2.0	稀	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	蔵の華	東北140号×(山田錦×東北140号)F ₁ (宮城県吉川農試, 平9)	8/2	9/12	75.7	17.1	670	中	中	強	強	強	強	24.1	5.3	2.9	2.1	中	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	ゆきむすび	東北157号(はたじりし)×東810号(宮城県吉川農試, 平19)	7/28	9/8	78.5	17.5	487	中	中	強	強	強	強	22.4	5.2	2.8	2.0	少	短	白	中	食味	西部丘陵地帯の標高の高い地域, 三陸沿岸地帯の冷涼な地域, 山間高冷地帯
中生	たきたて	東陽345号×東北153号(宮城県吉川農試, 平13)	8/5	9/18	85.8	18.2	477	中	中	強	強	強	強	22.0	5.0	2.8	2.0	少	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円
中生	金のいばき	たきたて×東北167号(めばえもち)(宮城県吉川農試, 平26号)	8/7	9/25	80.4	19.3	488	中	中	強	強	強	強	21.6	5.3	2.8	2.0	少	短	白	中	食味	山間高冷地帯を除く果下一円

注1) 調査は: 水稲優良品種決定調査(吉川農試, 大崎市) 施肥要素: 基肥5kg/10a, 減量分製成肥1kg/10a

2) 調査年次: 平成30~令和4年。

3) 本表の特性の分類は, 平成27年1月に示された新たな調査基準(稲種)によるもの。

4) 収量および千粒重は, 節目1.8mmで調製し, 水分15%換算とした。

Ⅹ 優良品種特性表 (大豆) (H30~R4)

早晩性	品種名	米歴 (育成場所, 育成年次)	採用年次	優良品種区分	開花期(月日)	成熟期(月日)	主茎長 (cm)	分枝数 (本)	主茎節数 (節)	葉形	伸長の有無及び色	毛の着き及び色	花の色	葉の色	* 裂表性	実子					病害抵抗性				晩播適応性	特性概要	栽培適地				
																百粒重 (g)	* 形状	* 種皮色	* 脚色	10a 当たり収量 (kg)	粗たんぱく質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	外観				* ウイルス病	* 立枯病	* 紫斑病	* 炭疽病
大豆	すすほのか ^{※2}	刈交7856×コスズ (東北農研, 平19)	平20	特定	8.08	10.12	60	4.2	15.2	三角形	有限	白	淡紫	中	中	9.2	球状	黄白	黄	307	45.1	17.6	22.3	中の上	中	強	や	強	大	葉数は適量, 分枝数も多く, 葉数が多い。倒伏性低。耐湿性に強い。大豆イシダシ病抵抗性強。炭疽病抵抗性強。ダイズウイルス病抵抗性強。大豆イシダシ病抵抗性強。根粒形成良好。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	タンレイ	農林2号×東山18(サカタ)×東山19(サカタ) (長野県中務農試, 昭53)	昭53	基準	8.01	10.24	69	3.7	14.7	円形	有限	白	紫褐	中	中	32.3	楕円	黄	黄	351	44.6	19.9	21.4	中の上	中	強	や	強	大	葉数は中量, 分枝数や少ない。葉数は多いが耐倒伏性は強。多肥条件下草性になりやすい。耐倒伏性は強い。倒伏性は強い。大豆イシダシ病抵抗性強。炭疽病抵抗性強。大豆イシダシ病抵抗性強。根粒形成良好。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	あやこがね ^{※3}	東山124号(サカタ)×エンレイ (長野県中務農試, 平11)	平11	基準	7.27	10.21	91	4.3	16.5	円形	有限	白	紫褐	中	中	35.1	球状	黄	黄	351	45.3	19.4	21.7	中の上	中	強	や	強	大	葉数は中量, 分枝数や少ない。倒伏性は強い。倒伏性は強い。大豆イシダシ病抵抗性強。炭疽病抵抗性強。大豆イシダシ病抵抗性強。根粒形成良好。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	タチバナガハ	東山101号(サカタ)×東山102号 (長野県中務農試, 昭61)	平8	特定	7.31	11.02	73	4.0	15.3	長×中間	有限	白	紫褐	中	中	37.6	楕円	黄	黄	383	42.6	20.7	21.8	中の上	中	強	や	強	中	葉数は中量, 分枝数や少ない。倒伏性は強い。倒伏性は強い。大豆イシダシ病抵抗性強。炭疽病抵抗性強。大豆イシダシ病抵抗性強。根粒形成良好。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	きぬさやか ^{※4}	刈交508号×刈交0458P1 (東北農研, 平17)	平18	特定	7.25	10.16	76	4.9	15.2	円形	有限	白	紫褐	中	中	28.5	球状	黄白	黄	391	43.4	19.3	23.2	中の上	中	強	や	強	中	葉数は中量, 分枝数や少ない。倒伏性は強い。倒伏性は強い。大豆イシダシ病抵抗性強。炭疽病抵抗性強。大豆イシダシ病抵抗性強。根粒形成良好。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	すすみのり	東山199号(サカタ)×東山198号 (長野県中務農試, 平11)	令4	特定	8.01	10.28	76	4.1	15.1	三角形	有限	白	紫褐	中	中	36.1	楕円	黄	黄	401	44.6	19.9	21.5	中の上	中	強	や	強	中	葉数は中量, 分枝数や少ない。倒伏性は強い。倒伏性は強い。大豆イシダシ病抵抗性強。炭疽病抵抗性強。大豆イシダシ病抵抗性強。根粒形成良好。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	ミヤギシロメ	岩根在来種の系統分離 (専攻農試, 昭36)	昭36	基準	8.04	11.09	98	4.8	16.5	円形	有限	白	紫褐	中	中	44.3	や	黄白	黄	396	43.1	19.1	23.8	中の上	中	強	や	強	小	葉数は中量, 分枝数や少ない。倒伏性は強い。倒伏性は強い。大豆イシダシ病抵抗性強。炭疽病抵抗性強。大豆イシダシ病抵抗性強。根粒形成良好。納豆加工適性良好。	県下平坦地帯

注1) 特性表のデータは、過去5か年(平成30~令和4年)の優良(奨励)品種育成産果の平均値。
 注2) 「*」印を付した項目は「すすみのり」以外は「たいす種苗特性分類」(農水省), 「すすみのり」は「ダイズ種苗特性調査マニュアル」(農研機構種苗管理センター)の表記に基づく。
 品種採用時の項目・表記方法を用いているため、採用年次により項目が異なることがある。
 注3) 「すすほのか」は、平成16~19年(6月下旬播きの晩播栽培)のデータ。
 注4) 「あやこがね」は、平成25~29年のデータ。
 注5) 「きぬさやか」は、平成27年のみのデータ。
 注6) 「タンレイ」の炭疽病抵抗性は「たいす種苗特性分類」(農水省)では「中」だが、県内播種適性を考慮し、「や」や「弱」としている。

ⅩⅠ 麦類優良品種特性表

(供試年次:平成30~令和4年)

イ 小麦

品種名	採用品種 来歴 (育成場所、育成年)	採用年次	出穂期 年月日	成熟期 年月日	穂長 (cm)	穂当たり穂数 (本)	芒の長短 やや長	株の開閉 や中閉	穂脱粒性 かなり難	秋播性程度 Ⅱ	原麦				精製粉(80%)				精製粉				概要								
											千粒重 (g)	容積重 (g/L)	10a 容積重 (kg)	粗蛋白質含有率 (%)	灰分 (%)	白度	色相	外観品質	*うどんこ病	*赤かび病	*赤上害抵抗性	*耐寒性		*耐倒伏性	*赤かび病	*うどんこ病	*赤上害抵抗性	*耐寒性	*耐倒伏性		
早生 あおばの恋	関東105号/Jeery'sのFI×西海171号 (農業研究社、平20)	平20	4.3	6.16	75	7.3	474	やや長	かなり難	Ⅱ	42.2	830	492	9.5	0.49	85	中	上	中	弱	や	や	や	中	中	弱	や	や	や	中	早生。中稈で耐倒伏性は中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製粉適性が優れる。
中生の早 シラネコムギ	北陸49号×東海80号 (長野農試、昭61)	平元	5.4	6.19	81	7.5	440	中閉	難	Ⅳ	41.8	833	533	9.1	0.40	83	中	上	強	や	や	強	中	強	強	中	強	強	中	中稈・強稈で草型も良く、耐寒性は強。穂発芽性は難。製粉歩留まりも良く、類用粉として食味も良好である。	
中生の早 夏黄金	関東123号×東北214号のFI×関東123号 ×東北209号のFI×もち盛系C-3170号	平28	5.5	6.19	79	8.1	471	極短閉	や難	Ⅴ	40	835	543	10.8	0.46	83	中	上	強	中	強	強	中	強	強	中	強	強	中	中稈・強稈で耐倒伏性は強。凍上害抵抗性は強。穂発芽性は難。赤かび病抵抗性は中。製パン適性が高く、中華麵にも適する。	

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成30~令和4年) *印の特性は「小麦種苗特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質(80%粉)のデータは、「あおばの恋」は平成16~18年、「シラネコムギ」は平成29年、「夏黄金」は平成25~29年の調査結果による。

ロ 大麦

品種名	採用品種 来歴 (育成場所、育成年)	採用年次	出穂期 年月日	成熟期 年月日	穂長 (cm)	穂当たり穂数 (本)	芒の長短 やや長	株の開閉 や中閉	穂脱粒性 かなり難	秋播性程度 Ⅰ	原麦				精製粉(80%)				精製粉				概要							
											千粒重 (g)	容積重 (g/L)	10a 容積重 (kg)	粗蛋白質含有率 (%)	55% 精製粉 白度	軟白度	外観品質	*うどんこ病	*赤かび病	*赤上害抵抗性	*耐寒性	*耐倒伏性		*赤かび病	*うどんこ病	*赤上害抵抗性	*耐寒性	*耐倒伏性		
早生 シュンライ	ミノリコムギ×東山皮68号 (長野農試、平2)	平3	4.22	6.4	94	3.9	493	や中閉	中	Ⅰ	37.9	687	636	46.8	46.5	37	中	中	強	や	や	強	中	強	強	中	強	強	中	中稈・強稈で草型も良く耐倒伏性は強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐倒伏性は中。
中生の早 ホワイトフアイバー	東山系種437号×東山皮96号 (長野農試、平27)	平28	4.25	6.6	92	4.3	439	中閉	中	Ⅱ	37.2	690	584	17.4	48.8	34	中	中	強	や	や	強	中	強	強	中	強	強	中	中稈で耐倒伏性はやや強。赤かび病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐倒伏性は中。
中生 ミノリコムギ	東山皮1号×コガクノキ (長野農試、昭44)	昭44	4.27	6.7	104	4.1	508	中閉	や難	Ⅲ	37.0	697	682	43.7	47.0	35	中	中	強	や	や	強	中	強	強	中	強	強	中	多収・長稈で株がやや開き、耐倒伏性はやや強、耐寒性は中。耐倒伏性・耐寒性は強。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成30~令和4年、ただし「ホワイトフアイバー」は平成28~29年、令和2~4年) *印の特性は「大麦種苗特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質のデータは平成25~29年の調査結果による。

Ⅻ 水稲優良品種の年次別作付面積

(面積:ha)

年次 品種	平成30年産			令和元年産			令和2年産			令和3年産			令和4年産			令和5年産		
	項目	作付面積		作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		
		A	B	A	B		A	B		A	B		A	B				
うるち	やまのしずく	30	0.1%	0.1%	0.1%	36	0.1%	0.1%	0.1%	8	0.01%	0.014%	32	0.1%	0.1%	4	0.01%	0.01%
	ササニシキ	3,534	6.4%	6.2%	5.9%	3,479	6.0%	5.9%	6.8%	3,933	6.8%	6.7%	3,872	7.0%	6.8%	4,270	7.7%	7.5%
	ひとめぼれ	42,218	76.2%	73.7%	75.0%	43,988	77.1%	75.0%	74.0%	42,509	73.7%	71.9%	40,189	72.8%	71.0%	38,805	70.3%	68.6%
	まなむすめ	2,831	5.1%	4.9%	4.3%	2,941	4.4%	4.3%	4.9%	2,895	5.0%	4.9%	3,246	5.9%	5.7%	3,488	6.3%	6.2%
	だて正夢	287	0.5%	0.5%	1.0%	841	1.1%	1.0%	1.4%	860	1.5%	1.5%	663	1.2%	1.2%	741	1.3%	1.3%
	げんきまる	1,050	1.9%	1.8%	1.7%	1,046	1.7%	1.7%	1.8%	1,105	1.9%	1.9%	1,032	1.9%	1.8%	1,190	2.2%	2.1%
	トヨニシキ	123	0.2%	0.2%	0.2%	102	0.2%	0.2%	0.2%	122	0.2%	0.2%	42	0.1%	0.1%	48	0.1%	0.1%
	コシヒカリ	615	1.1%	1.1%	1.0%	573	1.0%	1.0%	1.0%	543	0.9%	0.9%	464	0.8%	0.8%	425	0.8%	0.8%
	つや姫	3,986	7.2%	7.0%	7.0%	4,378	7.2%	7.0%	7.4%	5,008	8.7%	8.5%	4,966	9.0%	8.8%	5,257	9.5%	9.3%
	東北194号	278	0.5%	0.5%	0.4%	220	0.4%	0.4%	0.4%	251	0.4%	0.4%	178	0.3%	0.3%	194	0.4%	0.3%
	蔵の華	148	0.3%	0.3%	0.3%	172	0.3%	0.3%	0.3%	162	0.3%	0.3%	103	0.2%	0.2%	120	0.2%	0.2%
	ゆきむすび	58	0.1%	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	71	0.1%	0.1%	94	0.2%	0.2%
	たきたて	0	0.0%	0.0%	0.1%	35	0.1%	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	金のいぶき	235	0.4%	0.4%	0.3%	117	0.3%	0.3%	0.2%	212	0.4%	0.4%	349	0.6%	0.6%	567	1.0%	1.0%
	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
計	55,390	100%	96.7%	100%	57,994	100%	97.2%	100%	57,701	100%	97.6%	55,205	100%	97.6%	55,200	100%	97.6%	
もち	ヒメノモチ	49	2.6%	0.1%	0.1%	22	3.2%	0.1%	1.5%	30	2.1%	0.0%	18	1.3%	0.0%	14	1.0%	0.02%
	みやこがねもち	1,832	96.4%	3.2%	2.7%	1,412	95.8%	2.7%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%	1,330	97.9%	2.4%	1,331	98.0%	2.4%
	こもまる	20	1.0%	0.0%	0.0%	15	1.0%	0.0%	1.0%	16	1.2%	0.0%	11	0.8%	0.0%	14	1.0%	0.02%
	計	1,900	100%	3.3%	2.8%	1,448	100%	2.8%	2.4%	1,389	100%	2.4%	1,359	100%	2.4%	1,358	100%	2.4%
合計	57,289	100%	100%	100%	59,442	100%	100%	100%	59,090	100%	100%	56,564	100%	100%	56,558	100%	100%	

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、種子供給量(公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部)を面積換算(4kg/10a)した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

XⅢ 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品種	平成29年産		平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	
大豆	ミヤギシロメ	4,726	42.2%	4,665	43.6%	5,137	46.7%	5,076	47.0%	5,556	50.5%	5,984	50.3%
	タンレイ	2,613	23.3%	2,622	24.5%	2,640	24.0%	2,700	25.0%	2,288	20.8%	2,289	19.2%
	タチナガハ	3,293	29.4%	2,825	26.4%	2,695	24.5%	2,462	22.8%	2,607	23.7%	3,084	25.9%
	あやこがね	258	2.3%	235	2.2%	198	1.8%	199	1.8%	153	1.4%	135	1.1%
	きぬさやか	101	0.9%	96	0.9%	77	0.7%	113	1.0%	102	0.9%	107	0.9%
	すずほのか	127	1.1%	139	1.3%	110	1.0%	110	1.0%	99	0.9%	106	0.9%
	その他	78	0.7%	118	1.1%	143	1.3%	140	1.3%	195	1.8%	195	1.6%
合計	11,200	100%	10,700	100%	11,000	100%	10,800	100%	11,000	100%	11,900	100%	

注1) 作付面積は東北農政局統計情報部資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

XIV 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品 種	平成29年産		平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産							
	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合							
		A	B		A	B		A	B		A	B						
ミノリムギ	318	30.0%	14.1%	336	28.7%	14.8%	292	25.2%	12.8%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.5%	295	20.9%	12.3%
シユンライ	723	68.2%	32.0%	814	69.6%	35.9%	667	57.5%	29.1%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.1%	495	35.1%	20.6%
大麦 ホワイトアイバー	-	-	-	-	-	-	181	15.6%	7.9%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.0%	569	40.4%	23.7%
その他	19	1.8%	0.8%	20	1.7%	0.9%	20	1.7%	0.9%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%	51	3.6%	2.1%
計	1,060	100.0%	46.9%	1,170	100.0%	51.5%	1,160	100.0%	50.7%	1,160	100.0%	51.3%	1,280	100.0%	53.6%	1,410	100.0%	58.7%
シラネコムギ	700	58.3%	31.0%	613	55.7%	27.0%	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	582	52.4%	24.4%	476	47.9%	19.8%
夏黄金	-	-	-	-	-	-	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	406	36.6%	17.0%	435	43.8%	18.1%
小麦 あおばの恋	119	9.9%	5.3%	132	12.0%	5.8%	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	105	9.5%	4.4%	64	6.4%	2.7%
その他	31	2.6%	1.4%	33	3.0%	1.5%	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	17	1.5%	0.7%	19	1.9%	0.8%
計	1,200	100.0%	53.1%	1,100	100.0%	48.5%	1,130	100.0%	49.3%	1,100	100.0%	48.7%	1,110	100.0%	46.4%	994	100.0%	41.3%
合 計	2,260	100%	100%	2,270	100%	100%	2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,390	100%	100%	2,404	100%	100%

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、統計上の作付面積から麦類の播種状況調査結果より換算。